資料－１

委員の選定結果について

１．委員の選定について

　第３回準備会議を１１月６日に開催した。流域委員会委員の選定が審議事項であるため、プライバシーに配慮して、非公開の会議とした。

選定された委員については、準備会議の指示で庶務と河川管理者が手分けして、委員就任の内諾を得るための作業を行い、全員から内諾を得た。

２．委員の選定方針（第３回準備会議で定められた選定方針）

（１）選定人数

・委員の人数は、２０人前後とし最大２５人程度までとして選定。

（２）専門分野等

・九頭竜川流域の河川に関し、学識経験を有する者の候補者リストの状況を踏まえて、治水・利水・環境・人文等の各分野のバランスを考慮して選定。

（３）専門性

・専門分野における研究、教育活動及び地域活動等を行い、その分野に関する知見を有する者を選定。

（４）九頭竜川との関連性

・九頭竜川流域の河川について知見を有する者を選定。

・九頭竜川流域の河川について意見を述べることができる者を選定。

（５）地域性

・主に九頭竜川流域及び福井県内に在住する者を選定。
・広域的（全国的）視野を持ち、かつ九頭竜川に関する知見を有する者を選定。

（６）公募者の選定割合

・メンバー全体の５分の１程度の人数を目安に選定。

（７）その他

・関係省庁との申し合わせ事項に配慮して選定。
・幅広い年代からの選定や女性の登用についても配慮して選定。

３．選定結果

（１）選定人数

審議の結果、委員として総数で２２人を選定した。

（２）選定された委員

選定された委員は、別表のとおりである。

（３）専門分野

専門分野毎の人数の内訳は、次のとおりである。

図１　委員の専門分野の内訳

流域委員会（２２人）

治水分野（４人）	利水分野（４人）	環境分野（７人）	人文分野（７人）

（４）地域性

　福井県内在住者は１９人、県外在住者は３人選定した。

（５）公募による委員の割合

　応募のあった１４名の中から４名を選定した。委員２２人中　に占めるその割合は、約１８％となった。

（６）男女の割合

　男性は１７人、女性は５人となり、女性の割合は約２３％となった。

別表　流域委員会委員

専門分野	人数	氏名	専門分野の細別	備考
治水	4人	池渕　周一	水文学・水資源工学等	―
		酒井　與郎	地域の特性に詳しい	一般公募
		角　哲也	ダム工学・水工水理学等	―
		福原　輝幸	地下水理学・エネルギー資源工学等	―
利水	4人	菊澤　正裕	農業工学	―
		清水　賢涼	水道原水	―
		中田　忠則	漁業	―
		吉田　公一郎	水力発電	―
環境	7人	上木　泰男	鳥類	―
		岡　敏弘	環境経済学	―
		奥村　充司	環境都市工学	―
		森下　郁子	河川環境全般	―
		山内　フミ子	リサイクル・地域活動	―
		米村　輝子	地域の特性に詳しい	一般公募
		渡辺　定路	植物	―
人文	7人	上杉　京子	地域活動	―
		川上　賢正	法律	―
		田中　保士	親水・交流活動等	―
		土山　弥一郎	マスコミ	―
		中廣　明子	青少年教育	―
		藤田　武志	地域の特性に詳しい	一般公募
		三谷　政敏	地域の特性に詳しい	一般公募

※　敬称略。
※　分野毎の氏名の降順は、五十音順。
※　一般公募による委員の専門分野の細別は「地域の特性に詳しい」とした。